

令和5年9月25日（月）及び12月14日（木）、福岡県北九州市沖で発見された戦時中の機雷、砲弾、爆弾を水中爆破処理しました。





水中爆破処分の衝撃は、爆破直後から水柱が大きく上がり、その水柱が消えるまで約15秒かかります。その威力は、大型船でも真っ二つに折れるほどです。

9月に実施した機雷の爆破準備  
12月と違い、晴れ間の見える曇り空で  
した。



海面は、ゴムボートにとっては高波状態  
でしたが、支障なく準備作業を実施しま  
した。



12月の爆破準備時



母艇である掃海艇「とよしま」、「うくしま」が見守る中、処理班による爆破準備が行われました。

9月の爆破準備



ゴムボート上から撮影するため、撮影班はカメラ片手に防寒と波受け対策を施し、撮影準備を行いました。



撮影班が出発する時点における港の海面は風状態でした。



令和5年9月、爆破処理の様相  
風が強く、波も高くなってきた中での処  
分でした。



処分員の爆薬設置はパーフェクト！  
天候が悪くても確実に処分します。



午前：砲弾等爆破画像

令和5年12月14日

午後：機雷爆破画像

2艇と機雷爆破を同時撮影！

2艇での同時撮影は43掃海隊史上初



とよしま

うくしま